

協働で取り組むプロジェクトについて

○自然体験観察園の活用について

◆自然体験観察園とは（概要：棚田・畑等 約1,500m²）

- ・昔ながらの里山・田園風景を手本としており、来園者が自然に親しみ、多様な生物の関わり合いを学ぶ場である
- ・水田、ため池・小川、蓮田、畑（綿、なにわ伝統野菜など）、野草地などがある
- ・田植えや作付け、収穫など市民の農事体験、生き物の観察会や生き物調査の実施などボランティア活躍の場となっている
- ・大阪市エコボランティアが生き物の生息空間づくりを実施している（野草広場再生と実生林創生）

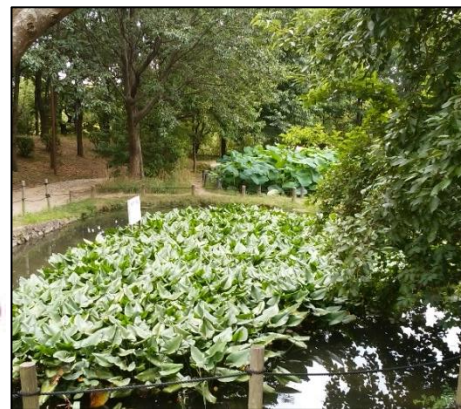
◆多数の生き物が生息

- ・大阪市の中では珍しい水田、ため池、蓮田があり、多様な生息環境がある
- ・ツマグロキチョウ、フクロウなど希少な生き物も目撃例がある

◆生き物に親しみ、体験し、学べる空間づくり

- ・水が抜ける田んぼを活用し、市民参加型でビオトープづくりを行う
- ・ため池などを活用しながら「来て」・「見て」・「体験して」・「支えて」といった楽しい空間にしていく

自然体験観察園のマップ



○大阪城公園の濠での生き物さがしについて

◆目的

- ・市民の生物多様性に関する認知度をあげるため、インパクトの大きい大阪城公園の濠で生き物さがしの実施を検討

◆大阪城の濠での生き物調査例

- ・追手門学院
2006年、2007年に内濠、東外濠、西外濠、北外濠で刺網、延縄、網もんどり、地曳網にて調査を実施（調査結果については別図のとおり）
- ・その他、毎日放送「よみこ部」や読売テレビ「す・またん！」などで生き物調査に関連した番組を放送

◆実施に向けた検討事項

- ・市民を巻き込んで実施する
- ・話題になるような方法の検討が必要である
- ・費用や構造の問題等もあり、水を抜かずに実施できる方法の検討も必要である

大阪城公園のマップ

北外濠

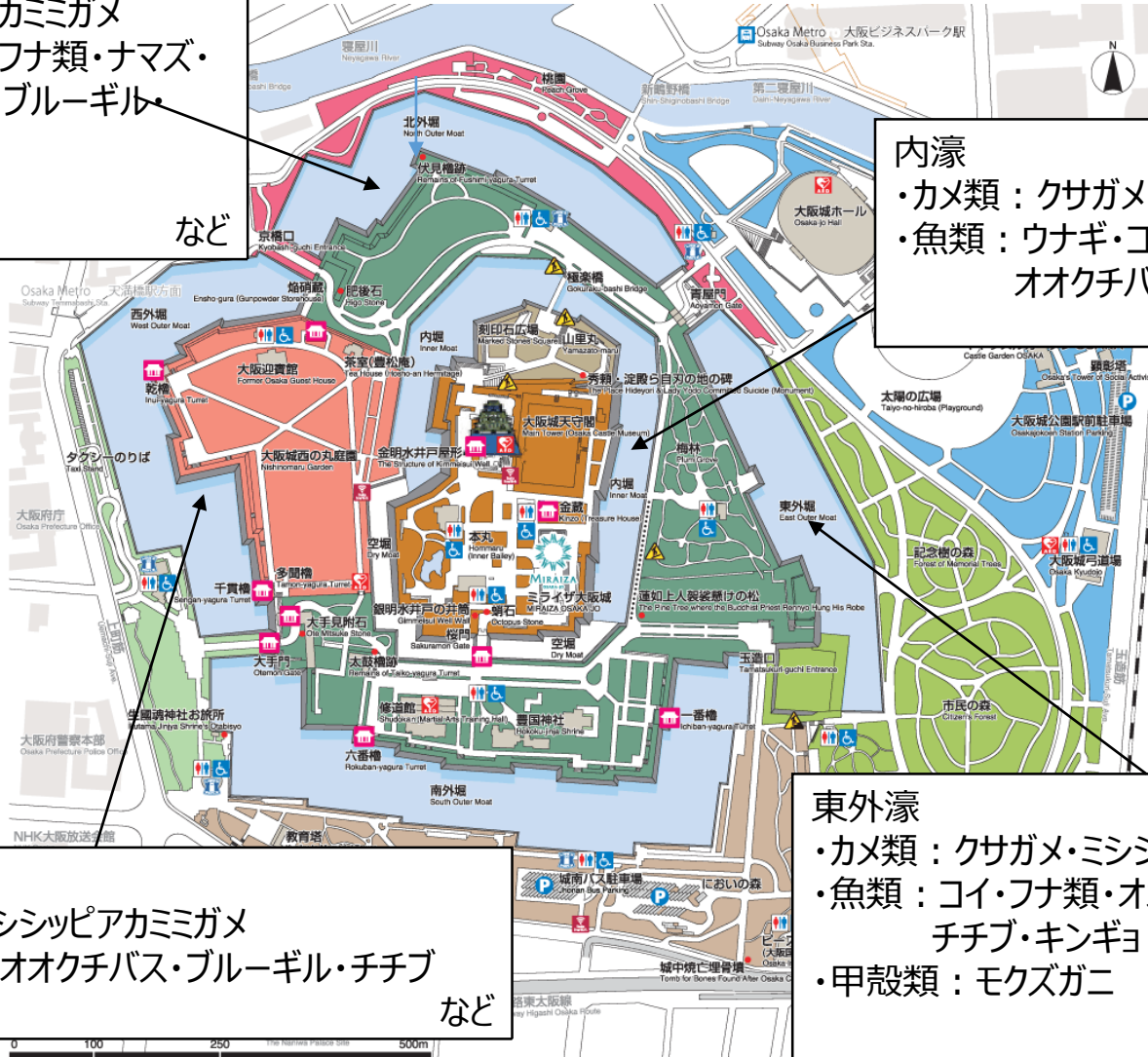
- ・カメ類：クサガメ・ミシシippアカミミガメ
- ・魚類：ウナギ・コイ・フナ類・ナマズ・オオクチバス・ブルーギル・チチブ
- ・甲殻類：テナガエビ

など

内濠

- ・カメ類：クサガメ・ミシシippアカミミガメ
- ・魚類：ウナギ・コイ・フナ類・カルムチー・オオクチバス・ブルーギル・チチブ

など



西外濠

- ・カメ類：クサガメ・ミシシippアカミミガメ
- ・魚類：コイ・ナマズ・オオクチバス・ブルーギル・チチブ

など

東外濠

- ・カメ類：クサガメ・ミシシippアカミミガメ
- ・魚類：コイ・フナ類・オオクチバス・ブルーギル・チチブ・キンギョ
- ・甲殻類：モクズガニ

など